小田原市報

第116号
発行所
小田原市役所
小田原市幸1の138
編集兼発行人
浦　寅松
定価一部三円
文進堂印刷所

人口	121.178人
男	59.430人
女	61.748人
世帯	24.683

11月1日現在

待望の記念館が落成

星崎さんの厚意実る

―すでに七日から開館―

写真は…落成式における鈴木市長のあいさつ

市民をはじめ各方面から大きな期待を寄せられていた星崎記念館はこの程みごとに完成し、菊花かおる十一月七日、星崎定五郎翁胸像除幕式と記念館落成式が盛大に挙行されました。

除幕式は午前十時、星崎定五郎氏をはじめご近親の方々ならびに市長、助役その他市側関係者参列の上行なわれ、星崎氏の本家を継がれている星崎茂氏の長女久美子ちゃんと長男昭彦君の可愛らしい手で除幕されました。胸像は横田七郎氏の製作にかかるもので、こども科学室前に設置されております。

続いて午前十時三十分、記念館落成式が三階閲覧室でとり行なわれました。ご参列いただいた方々は厚生省、神奈川県等の官庁関係、河野参議院議員、アメリカ総領事ゼンゴチタ氏、横浜アメリカ文化センター館長デマイヤー氏その他県市関係の代表者三百余名で、特に長谷川如是閑氏、松永安左衛門氏その他のご臨席も得て極めて盛んな式典となりました。

式はまず助役の経過報告に始まり、市長、市議会議長のあいさつの後、星崎氏に対し、県知事より感謝状、市長より塑像が贈呈され、ついで本町小学校児童二十名の「星崎おじさんありがとう」の歌が合唱されました。続いて来賓の祝辞があり、最後に星崎翁のあいさつがありましたが、そのこどもの頃の体験談には、参列者一同深い感銘を受けました。

また当日落成式終了後直ちに図書館、児童文化館を開館しましたが、小劇場、こどもクラブのおどりや紙芝居、科学室の交通関係の展示はそれぞれこども達の人気を集め、閉館まで入館者が絶えませんでした。

なおこれらの模様は神奈川ニュースに収録されて、広く県内各地に紹介されることになっております。

写真は…胸像除幕式、中央が星崎さん

国保だより

優良健康家庭の表彰

本年度は九九五世帯

市民の健康を守る大きな使命をもって発足した国民健康保険事業は、実施以来八年を経過いたしましたが、市民の皆様の深いご理解と、療養を担当される医師、その他各方面のご協力により極めて順調な歩みを続けております。

さて本市では被保険者の皆さんが保険料を一年間完納しますが、三年・五年・七年連続、しかもその間一度も保険による給付を受けなかった世帯を、毎年優良健康世帯として表彰してまいりましたが、本年度も昨年の実績により九九五世帯を表彰することにいたしました。

被表彰世帯には、市長の表彰状及び報償金等は各地域組織を通じてお届けいたします

報償金は本年三月分の保険料を基準として次のとおりとなっています

世帯	保険料の二カ月分
六人以上の世帯	保険料の一カ月分
二・五カ月分、なお前記の表	
世帯	保険料の一カ月分
一人～二人	三人～五人

かわら一積み運動始まる

小田原城天守閣の復興に

小田原城天守閣復興期成会では当市最大の文化遺産である天守閣復興に当り、広くみなさんのご協力を得て、かわらの裏面に寄付者の氏名を墨書していただく「かわら一積み運動」を、十二月一日から明年二月末日まで実施することになりました。

かわらは平がわら及び丸がわら一枚百円、からくさ、ともえがわら一枚三百円で、受付場所を商工観光課と城址本丸跡の二カ所に設けて、市民の皆さんや城址を訪れる観光客からの申込みを受付けることになりましたので、ぜひこの趣旨にご賛同の上、一人でも多くの皆さんが、かわらの裏に将来に残る名前をおしるし下さるようお願いいたします。

鈴木市長に感謝状

さる十月二十一日日比谷公会堂において天皇、皇后両陛下のご臨席のもとに、厚生保護制度十周年記念全国大会が開催されましたが鈴木市長は、保護司会長として、本市保護観察業務の進展に尽した功績により、法務大臣から感謝状を授与されました。

建設だより

秋の火災予防週間に

かまどの検査

毎年行なわれている秋の火災予防運動は、ことしも十一月二十六日から十二月二日までの一週間、全国一斉に実施されますが、小田原市における一月から十月末までの火災件数は、すでに五六件で、焼失面積一、四四七平方メートル、損害額一五、六三一、〇〇〇円の多きに達しております。

そこで消防署では、この週間中火災発生率の高い各家庭のかまど検査を、地区消防団の協力を得て次により実施すると共に、これからの火災シーズンに当り特に市民のみなさんに火の用心と火災の早期通報を強く望んでおります。

たお、消防の歳末火災特別警戒は、例年のとおり十二月二十六日から三十一日まで行なわれます。

◇かまど検査の日程

▲11月26日新玉、中島、町田、今井、井細田、多古、飯泉、成田、桑原　▲27日石橋、米神、根府川江之浦、久野、曽我原、曽我谷津曽我別所、曽我岸　▲28日万年、国府津、田島　▲29日幸、山王原網一色、穴部、府川、北ノ窪、新屋、小台、酒匂、小八幡　▲30日十字、板橋、曽比、栢山、別堀、高田、千代、永塚、東大友、西大友、延清　▲12月1日早川、入生田、風祭、水之尾、谷津、池上、中里、下堀、矢作、上新田、中新田、下新田、柳、曽我大沢　▲2日縁、鴨宮、荻窪、寺町、上曽我、下大井、鬼

消防へ早く知らそう

―ボヤのうち―

◇大窪橋橋梁新設工事
早川鉄橋の上流約四〇〇メートルの地点に大窪橋が新設されます。この工事は二カ年継続事業として施行されるもので、本年度工事は橋台と橋脚の全部及び桁の一部の工事を施行し、来年度は桁の残りと橋面の舗装、高欄などを仕上げて完成する予定です。

本年度工事概要

◇江の浦漁港災害復旧工事
昭和三十三年台風二二号、二六号による被害の第一回復旧工事
工事概要
北防波堤基礎方塊据付工事　方塊二個
根固被覆復旧工事　延長二四・五メートル
工事費一、四〇〇、〇〇〇円
十一月六日着工
二月二十八日完成予定

◇上新田稲荷森線道路改良工事（上新田地内）
工事概要
道路延長六〇メートル
鉄筋コンクリート橋　一基
石積工延長九六メートル（一四三・六平方メートル）
工事費四四三、〇〇〇円
十一月十日着工
十二月二十日完成予定

◇蓮正寺中曽根線道路改良工事（蛍田駅裏）
工事概要
側溝新設A七七メートル
側溝新設B五〇メートル
甲蓋製作一〇〇枚
工事費一九四、〇〇〇円
十一月一日着工
十二月十五日完成予定

◇橋台一基（橋脚四基）
堤防復旧（石積工）一九四・六平方メートル
工事費九、四八〇、〇〇〇円
十月二十八日着工
三月三十一日完成予定

◇上部工事
桁製作二〇本
沓　二〇組
工事費五、二〇〇、〇〇〇円
十一月十一日着工
三月三十一日完成予定

◇下部工事
橋長八五・六メートル、橋幅八メートル

し尿処理場建設に

委員会を設置

市では、さる九月市議会定例会で議決された、し尿処理場の建設に当り、このほど市議会全員協議会において協議の結果、し尿処理委員会を設置しました。

この委員会は、市長を会長とし市議会議員、市の理事者からなる二十名の委員で構成され、処理施設の建設とこれに伴う運搬道路、給水排水その他必要な事項を調査審議し、その実施を推進するなどし尿処理問題を早急に解決するため設けられたもので、次の方々が委員に選ばれました。

＝市議会議員＝

山橋勝蔵（議長）　小沢三郎（副議長）　蓑島清夫（文教民生委員長）　尾崎正（同副委員長）　難波博夫（同委員）　今井敬雄（同委員）　望月正道（同委員）　鈴木正之助（同委員）　池出六郎（同委員）　志村正三（同委員）　黒沢正勝（同委員）　松野久雄（総務副委員長）

＝市理事者＝

鈴木十郎（市長）　原元助（助役）　曽我尚夫（総務部長）　石井重治（民生部長）　桜井得三（経済部長）　片岡栄太郎（建設部長）　杉崎一寸木壱雄（経済委員）　杉崎博（建設委員長）

片浦沿海で

投石事業

市では、天草の繁殖をはかるとともに魚族の住む場所を作るため、昭和二十八年以来、毎年片浦地区沿海で投石事業を行なって来ましたが、ことしも十月二十三日投石を開始し、十一月十日完了いたしました。

投石した場所は、江の浦と根府川の海岸線より、前者は五十メートル、後者は百六十メートル先であります。

また、投入した石は真鶴みさきから産出するもので、投入量は二カ所を合わせて八百八十立方メートルであります。

なお、この事業費は県補助、市費及び地元寄付金各三十万円、計九十万円であります

市役所の年末出納業務は

12月28日までです

市役所内の市金庫派出所窓口は十二月二十八日午後四時で収納及び支払業務を終ります。年末は市金庫派出所窓口が非常に混雑いたしますから納入や支払金の受領は早目にお願いいたします。なお、督促手数料、延滞金などの計算を必要としない市税等は、市金庫並びに市税収納取扱店に指定されている次の銀行で十二月三十一日まで取扱います。

◇市金庫銀行　横浜銀行小田原支店、同足柄支店、同国府津支店、同下曽我支店　駿河銀行小田原支店、同幸町支店、同国府津支店　小田原信用金庫、同緑町支店、同十字町支店、同国府津支店

◇市税収納取扱店指定銀行　日本勧業銀行小田原支店、静岡銀行小田原支店、同北支店　第一銀行小田原支店　協和銀行小田原支店

年末調整説明会のお知らせ

小田原税務署

ことしも例年のとおり、給与所得の年末調整説明会を左記により開催いたしますから、多数ご出席下さい。

◎12月9日　1時30分～4時30分　小田原商工会議所（官公庁）
◎12月11日　1時30分～4時30分　城内高体育館（一般市民）
◎12月12日　9時30分～12時　国府津小（一般市民）
◎12月16日　1時30分～4時30分　本町小（一般市民）

自衛官の募集

◇募集人員
二等陸士　約一〇、〇〇〇名
二等海士　約一、〇〇〇名
二等空士　約二、〇〇〇名

◇応募資格
①日本国籍を有する男子で昭和三十三年五月一日現在満十八歳以上三十歳未満の健全な身体の者
②中学校卒業程度以上の学力を有する者
◇受付期間　昭和34年11月20日～同35年1月11日
◇受付場所　市役所庶務課（窓口四番）

農産物品評会

12月8日～11日
中央公民館

8日～出品物搬入　9日～審査
10日・11日…一般公開
※ 出品物払下予約は10日午後1時～11日正午　引渡は11日午後1時～午後3時

主催　小田原市

健全財政で収支の執行に順調な成果

本市の財政事情につきましては毎年二回公表いたしておりますが、今回は、昭和三十三年度決算の概況及び昭和三十四年度上半期分（昭和三十四年四月一日から同年九月三十日まで）の財政状況とあわせて市有財産等の概況についてお知らせいたしますご承知のとおり、本市は、過去三カ年にわたる自主財政再建計画にのっとり、赤字解消に努力してまいりましたが幸いにも昭和三十三年度において、従前からの赤字を全面的に解消した上、更に二千万円を越える黒字を生ずる結果となりました。

従って本市財政運営の現況は明るくなり、収支の執行においても順調な成果を収めつつありますことは、ひとえに市民のみなさまのご理解とご協力のたまものと深く感謝いたす次第であります。

財政事情の公表

33年度決算　一般会計

決算額は八億円台を突破

土木費、支出の最高を示す

自主財政再建計画最終年度の昭和三十三年度における一般会計の歳入決算額は、八億二千七百二十八万七千五百九十八円、歳出決算額八億七百四万四千五百四十八円で、差引二千二十四万三千五十円を翌年度へ繰越して決算を終了しました。

この結果、昭和三十三年度においては、前年度までの累積赤字額一千六十四万二千八百六十四円を解消し、更に計画を上廻る黒字額を生むなど、予期以上の成果をあげ、健全財政へ順調に転換したのであります。

なお、区画整理事業費のうち、一千二百四十六万六千九百十一円を、昭利三十四年度へ予算の繰越しをしました。

◎歳出決算の概況

昭和三十三年度の予算に対する支出割合をみますと九七・一〇%で、前々年度の九三・八〇%、前年度の九六・七六%に比べ年々更に順調に執行されてきているわけであります。

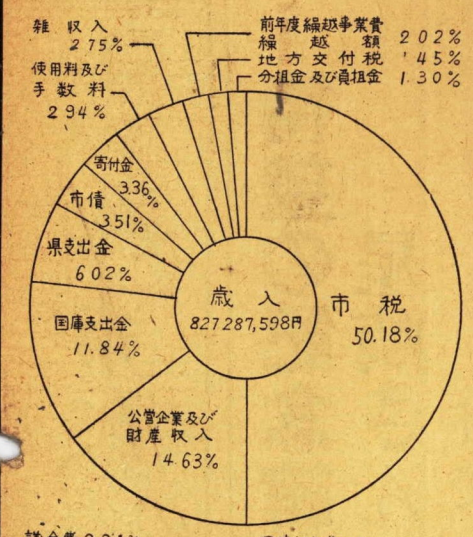
八億七百四万四千五百四十八円の歳出決算のうち、土木費が最高で一億五千六百八十万四千七百八十八円を示し、支出総額の一九・四三%を占め、次いで市役所費、教育費、社会及び労働施設費の順となっております。

なお、保健衛生費、統計調査費が比較的不用額が多い結果を示しておりますが、保健衛生費については、結核予防費において受診者数の減少に伴い原材料の使用が減つたためであり、統計調査費は、統計月報を廃して季報に切り替えたための印刷費の不用額であります。これらは、それぞれある程度の特殊事情にもとづく単年度決算上の不用額となっておりますが、大体において極めて順調な決算状況といえるわけであります。

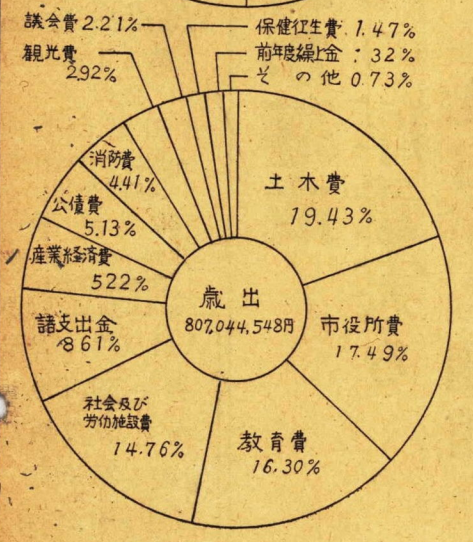
◎歳入決算の概況

昭和三十三年度歳入の決算状況は、別表のとおりでありますが、予算額に対する収入済額は、九九・五三%と好調を示し、これは歳入予算を堅く見積つたためと市民のみなさんの市財政に対するご理解のたまものであります。

なお、予算額に達しなかつた市債については、県営小田原漁港修築負担金債が国の起債許可方針の変更により、六百万円の減少となったものであります。しかしながら、全般的な予算に対する収入割合は順調に執行されました。



33年度一般会計款別決算額比率表



34年度上半期　一般会計

◎予算の概況

昭和三十四年度一般会計当初予算は、七億八千八十三万一千九十五円で、その後四月及び七月の追加により九月末現在八億二千五十七万七千八百二十五円となり、前年同期に比べ、六千七百五十六万九千三百九十六円の増加になっております。

四月追加の四百万円は、小田原城天守閣復興工事の主体工事費六千百万円に対し、工事の着手に伴い電気及び配水管工事を同時に施工する必要を生じましたので、前年度繰越額に財源を求め、建設費総額六千五百万円としたものであります。

また、七月の追加は道路舗装補修事業、下水道整備事業、米神漁港改良事業、防火貯水槽整備事業、街路樹造事業追加分九十一円）、土地、建物、工作物等、市債、機械器具及び造林の評価額二十一億二千九百六十三万三千六十六円（三月末日現在二十億五千七百九十三万七千円）、総額二十一億三千八百二十四万四千九百八十六円（三月末日現在二十億六千六百五十四万九百九十一円）となっております。これを市民一人当りにいたしますと一万七千六百六十四円、一世帯当り八万六千八百十八円の市有財産をもっていることになります。

◎予算執行の概況

一般会計予算の九月末日現在の執行状況は、別表に示すとおり、災害復旧費並びに市職員の期末手当その他当面必要とする諸経費で、総額三千五百七十四万六千七百三十円であります。

これら追加の財源は、前年度繰越金及び競輪事業繰入金を合わせて二千百二十四万三千五十円のほか、国県支出金等がおもな財源となっております。

天守閣・下水道事業などに約四千万円を追加

一般会計

九月末日現在における市有財産は、基本財産、積立金及び有価証券八百六十一万一千九百二十円（三月末日現在八百六十万三千九百九十一円）、土地、建物、工作物機械器具及び造林の評価額二十一億二千九百六十三万三千六十六円（三月末日現在二十億五千七百九十三万七千円）、総額二十一億三千八百二十四万四千九百八十六円（三月末日現在二十億六千六百五十四万九百九十一円）となっております。これを市民一人当りにいたしますと一万七千六百六十四円、一世帯当り八万六千八百十八円の市有財産をもっていることになります。

市有財産

市民一人当りの

財産＝約一万七千六百円

負債＝約二千百円

財産・市債・一時借入金の概況

市債

現在高は、九月末日で五億九千四百三十一万六千六百六十四円で、前回公表の三月末日現在の五億六千九百四十七万四千七百八十円に比べ、二千四百八十四万一千八百八十四円増加しております。

これは、昭和三十三年度事業の財源として資金運用部及び簡易保険局から新規借入の額四千四百万円から、償還金一千九百十五万八千百十六万円を差引いたもので、新規借入分は小田原城天守閣復興事業費一千万円、公営住宅建設事業費六百万円（以上は簡易保険局借入分）、病院建設事業費二千万円、小田原漁港修築費負担金五百万円、酒匂及び下府中小学校増築事業費三百万円（以上は資金運用部借入分）の五件であります。

なお、厚生年金保険積立金還元融資転貸住宅会計分は、箱根登山鉄道株式会社及び三国商工株式会社へ住宅建設資金として転貸融資いたしたものであります。

一般会計分の九月末日現在の未償還額二億六千二百五十一万八千七百九十七円を対象として、これを市民一人当りにいたしますと、二千百六十八円、一世帯当り一万六百五十八円の負担額となります。

一時借入金

一般会計におきまして、財政調整資金としての一時借入金は九月末日現在ありませんが、特別会計において公益質屋特別会計で、神奈川県から借入の二百万円（利率日歩一銭三厘七毛）と国民健康保険特別会計において、神奈川県国民健康保険団体連合会からの借入金三百万円（利率日歩一銭五厘）があります。

むすび

以上、昭和三十三年度決算の概況及び昭和三十四年度上半期分の財政状況並びに市有財産等の概況についてお知らせしましたが、今後とも財政運営の健全化には一段と留意してまいりたいと存じますので、市民の皆さまにおかれましても、市勢発展のために一層のご理解とご協力をお願いいたします。

なお、各特別会計の概要説明は紙面の都合で省略いたします。

市税負担額は一人当り約二千四百円

市民負担の概況

九月末日現在における市税総額四億二千二百十六万五千百円から滞納繰越額三百六十万一千円を差引いた現年度分四億一千八百五十六万四千百円を対象とし、これを九月三十日現在の本市人口一二一、〇五〇人及び世帯数二四、六二一世帯で除しますと次のとおりとなります。

一人当りの負担額　三、四五七円

一世帯当りの負担額　一六、九九四円

◎市税の徴収

昭和三十三年度市税につきましては、歳入決算額において五〇・一八%を占め、その収入済額は予算現額より五百十二万九千二百九十六円多くなっており、納付すべき総調定額に対し九八・二七%となり、前年度の九八・二一%より更に上回り、これを現年度分だけについて見れば前年度の九九・一%に比べ、八・四三%ほど低下しておりますが、これは整理困難なものが逐年残されている結果と考えられます。

しかして現下経済界の動向はやや上昇線をたどっているとはいえ、その景気の見通しはなお困難な状況にあって今後における市財政はかならずしも楽観を許さないものがありますので、みなさんの一層のご理解とご協力をお願いいたします。

徴収率は全国最優位の九九・二五%

なお、滞納繰越額は六百九十二万七百六十二円に対し、〇三%に対し、九九・二五%という全国最優位の徴収成績を収めております。

市民一人当りの

財産＝約一万七千六百円

負債＝約二千百円

財産・市債・一時借入金の概況

ボーナスを貯金にふり向けよう

小田原市・神奈川県貯蓄推進委員会

昭和33年度一般会計款別歳入歳出決算額調

歳入

款別	予算現額	決算額	収入割合
市税	410.044.510円	415.173.806円	101.25%
地方交付税	12.010.000	12.010.000	100.00
公営企業及び財産収入	121.657.819	121.035.806	99.49
分担金及び負担金	9.348.984	10.788.875	115.40
使用料及び手数料	24.052.632	24.297.271	100.98
国庫支出金	103.422.403	97.974.374	94.73
県支出金	49.166.706	49.770.626	101.23
寄附金	26.942.215	27.772.775	103.08
雑収入	22.805.275	22.741.430	99.72
市債	35.000.000	29.000.000	82.86
前年度繰越事業費繰越金	16.722.635	16.722.635	100.00
歳入合計	831.183.179	827.287.598	99.53

歳出

款別	予算現額	決算額	支出割合
議会費	18.259.939円	17.878.744円	97.91%
市役所費	143.340.868	141.153.960	98.47
消防費	36.331.281	35.560.052	97.88
土木費	160.367.681	156.804.788	97.78
	(16.722.635)	(12.466.911)	
教育費	133.873.063	131.532.220	98.25
社会及び労働施設費	126.541.495	119.110.815	94.13
保健衛生費	13.857.746	11.829.225	85.36
産業経済費	43.498.157	42.108.398	96.81
諸支出金	24.404.565	23.570.138	96.58
前年度繰越事業費繰越金	3.816.381	3.722.841	97.55
公債費	459.950	402.057	87.41
予備費	1.950.049	1.817.008	93.18
土地造成事業費	41.725.312	41.427.014	99.28
教育財産取得費	70.785.246	69.484.424	98.16
社会福祉施設建設費	10.642.864	10.642.864	100.00
保健衛生費	1.328.582	—	—
産業経済費	831.183.179	817.044.548	97.10
歳出合計	(16.722.635)	(12.466.911)	

昭和34年度上半期一般会計款別予算現額及び執行済額調

歳入

款別	予算現額	執行済額	収入割合
市税	422.165.100円	199.633.190円	47.29%
地方交付税	10.210.000	8.033.000	78.68
公営企業及び財産収入	106.681.328	55.225.471	51.77
分担金及び負担金	11.851.920	3.661.307	30.89
使用料及び手数料	25.072.040	12.989.414	51.81
国庫支出金	109.352.267	31.878.999	29.15
県支出金	32.829.159	3.143.725	9.58
寄附金	20.407.965	1.826.000	8.95
雑収入	32.164.996	7.523.059	23.39
市債	29.600.000	—	—
前年度繰越事業費繰越金	20.243.050	20.243.050	100.00
前年度繰越事業費繰越金	12.466.911	12.466.911	100.00
歳入合計	833.044.736	356.624.126	42.81

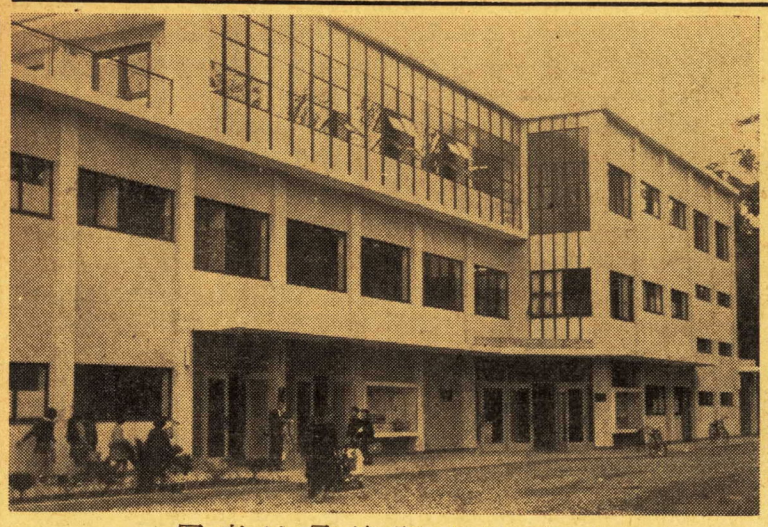
歳出

款別	予算現額	執行済額	支出割合
議会費	17.844.911円	8.178.318円	45.83%
市役所費	150.153.248	65.092.453	43.35
消防費	36.295.818	14.041.530	38.69
土木費	146.014.199	41.492.928	28.42
	(12.466.911)	(5.751.604)	
教育費	124.935.516	44.909.820	35.95
社会及び労働施設費	133.170.660	51.989.180	39.04
保健衛生費	29.805.365	6.560.489	22.01
産業経済費	40.724.005	12.577.467	30.88
諸支出金	61.091.066	5.231.966	8.56
前年度繰越事業費繰越金	4.117.729	2.265.247	55.01
公債費	476.700	102 205	21.44
予備費	4.668.399	2.647.518	56.71
土地造成事業費	45.416.835	21.706.284	47.79
教育財産取得費	37.638.931	16.677.340	44.31
社会福祉施設建設費	691.354	—	—
保健衛生費	833.044.736	293.472.745	35.23
産業経済費	(12.466.911)	(5.751.604)	
歳出合計			

註　かっこ内の数字は繰越事業費分を示す

星崎記念館

社会教育・児童文化のセンター



写真は星崎記念館正面

県下初の児童文化館

お母さんも一緒に勉強できる小・中学生室

社会教育と児童文化のセンターとして各方面から大きな期待が寄せられていた星崎記念館が、別掲のとおり十一月七日開館されましたので、今後利用される市民のみなさんのご便宜をはかるため、記念館のおもな室をご紹介しましょう。

この記念館は、城址公園内の小田原婦人職業訓練所の西隣りに位置し、鉄筋コンクリート三階建、床面積約一、六〇〇平方メートル、外部壁リシン仕上げの明るいモダンな建物で、館内には図書館と児童文化館の二つの施設が設けられております。

児童文化館は、県下ではじめての施設で、次の六つの室に分かれております。

◈ **小・中学生室（一階）**

幼児から中学二年生までを対象とした図書閲覧室です。

へやは小、中学生室の二つに分かれ、三十ずつ六十席が用意され、図書は公開されていて、自由に楽しい読書ができるようになっております。

特に小学生室では、テーブル、いすの一部を幼児向きにし、大人の席もありますので『図書を通じてのこども相談室』として、お母さん方のご利用をおすすめいたします。

◈ **こども科学室（一階）**

正面入口に面した室で科学資料の展示を行なうようになります。ここでは物理的分野に重点が置かれ、展示品は四カ月ごとに換えます。

現在は交通機関の自動車のカットシャーシーをはじめ、電車、機関車、船、航空機等の実物模型が展示され、開館と同時にこども達の人気を集めております。

◈ **こどもクラブ（一階）**

テラス、中庭に面していて、簡単な舞台があるほか、壁面が展示板となっているので、こども達の集会や紙芝居、お話し会、作品展示室として利用されます。

◈ **視聴覚資料室（一階）**

こどものためになる映画、紙芝居、幻灯、レコード等が備えてあり、学校、幼稚園、保育園、その他各団体へ館外貸出しを行なっております。

◈ **小劇場（二階）**

収容人員は九十人で十分なゆとりがあります。

舞台装置も一応整備されておりすべて調整室でコントロールでき特にスポットや調光器などの照明も完備されております。演劇、映画、幻灯会、人形劇の会を行なうほか、各団体のご利用にも供します。

◈ **会議室（二階）**

主として民生、児童、社会教育関係団体等の会議（六十席）に使用されるほか、小規模な展覧会場にもなります。

この室からは、アコーデオンドアにより、小劇場の舞台も利用できます。

◈ **図書の収容能力は五万冊**

自動車文庫も開設

図書館も六室に分かれ、約五万冊の蔵書能力がありますが、現在の蔵書は約三万八千冊です。

◈ **一般閲覧室（三階）**

六人がけの大型テーブル二十一いす一二六、南はお堀に面し、北は小山を背にして冬暖かく夏涼しいへやで、学習や読書に最適です。

◈ **海外資料室（三階）**

中央公民館の構内にあったアメリカ図書館を移したもので、ガラス張りの明るいへやです。

ここには海外の文献が集められています。

◈ **出納室（三階）**

ここは図書を借りたり、返えしたりするところです。

へやの中央には図書約四千冊を収めるガラス張りの書架があり北側の参考図書室には辞典類の公開書架があつて、自由に研究できるようになつております。

◈ **自動車文庫編成室（一階）**

このへやは市内各地区へ図書や紙芝居、スライド等の資料を自動車で運ぶいわゆる巡回文庫の編成室です。

◈ **書庫（一・二階＝三層）**

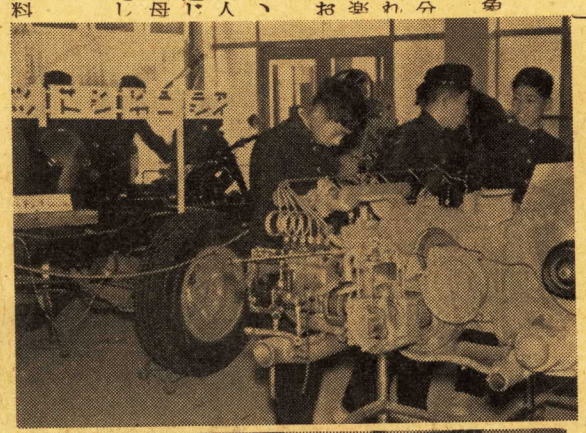
一、二階を吹き抜けにした三層の鋼製積層式書庫で、図書約五万冊の収容能力があります。

◈ **新聞閲覧室（一階）**

このへやは正面入口の真向いにあり、主要新聞が十紙以上備えつけられております。

▼写真説明▲

（下）一般閲覧室
（左上）こども科学室
（左下）小劇場



不幸な人たちに救いの手を

歳末たすけあい運動

歳末に当り、市内の生活困窮者並びに社会福祉施設収容者等の実情は、まことにお気の毒なものがあります。

これらの不幸な人々が、そろつて楽しい正月を迎えることができるように、今年も『歳末たすけあい運動』が、十二月一日から十二月二十五日まで、各地区民生委員協議会が中心となり婦人会、自治会等の協力を得て実施されます。

市民の皆様には、この運動の趣旨にご賛同の上ご協力願います。

匿名の一女性から毎月三千円

毎月二十七、八日頃になると匿名の一女性から市内の生活困窮者の援護の一助としてほしいと、三千円が市の厚生課長あて送金されてまいりますが、この寄託は、昨年八月から本年十月まで、すでに十四回におよび、その額は四万二千円に達し、関係者一同を感激させております。

市では、このご厚意を生かすため、昨年度の歳末たすけあい運動を通じて、寄託金の中から九千円を市内の貧しい方々に贈りましたが、残余は本年十二月末に昨年度と同じ方法でこれらの人々に差し上げる予定です。

この篤志の方にお礼を申したいのですが匿名であるため本紙上を通じて感謝の意を表する次第です。

緊急の事件は

一一〇番へ

小田原警察署

よいグループ活動を育てよう

青少年の自覚を高める運動

11月15日～12月14日

いかなる社会悪にもゆがめられない強い心身をもつ青少年を育成するためには、まず青少年の自覚を高めることが必要であります。ことしもすでに十一月十五日から一カ月の期間をもつて、青少年の自覚を高める運動が全国的に実施されております。

本市でも、青少年問題協議会が中心となり、この運動を進めておりますので、市民の皆さん、特に保護者の方々におかれましては、青少年の自主性を尊重しつつ、よき相談相手となり、青少年のよりよい生活環境をつくるよう心がけて下さい。

なお、市青少年問題協議会では、本運動の映画会、座談会等を地区が行なう場合にはこれに必要な映画フイルム、資料、講師の派遣などに協力いたしますので、希望地区は同協議会に申し込んで下さい。

有害広告を追放しよう

青少年保護育成条例の一部を改正

最近のポスター、看板等の広告物の一部には、性や暴力を刺激的に表現して、青少年の福祉を阻害する好ましくないものが見られます。

そこで県では、さる十月五日青少年の健全な育成を妨げているこれらの広告物を追放するため、青少年保護育成条例の一部を改正しました。

この改正により、知事は児童福祉審議会の意見を聞いた上で、有害と認められる広告物について、広告主又は管理者に広告内容の変更やその広告物の撤去を要求することができるようになりました。

その対象となる広告物は、屋内又は屋外をとわず一般の人の目にふれる看板、立看板、はり紙、はり札並びに広告塔、広告板及び建物その他の工作物等に掲示されたり、表示されているものやこれに類するもので、その内容が著しく性的感情を刺激したり、粗暴性を助長するなど青少年の福祉を阻害するものとなっております。

県では、このような広告物に対しては、常に注意をはらい必要な措置をとりますが、市民の皆さんも青少年のためによりよい生活環境をつくりだすよう有害と思われる広告がある場合には、市役所厚生課、警察署または県民生部婦人児童課にお知らせ下さい。

小林君の死をいたむ

小田原市教育委員会事務吏員小林優君はさる十月二十七日午後時頃、図書館移転の荷物運搬中不慮の事故のため殉職されたので、教育長が、葬儀委員長となり、三十日午後三時から十字町正恩寺において告別式を執行しました。

小林君は、昭和二十八年五月から教育委員会社会教育課に勤務し満六年間熱心に市内子供会の育成や校外生活補導に尽力し、何事についても率先して労をいとわず、世話をするので『おとつつあん』の愛称でどこに行つても親しまれ感謝されておりました。

又一方では、小田原警察署管内の交通指導員をつとめるとともにボーイスカウトの隊員として、富水地区隊の結成や鼓隊の育成に努力し、小田原地区隊財政委員長としても大いに活躍し、日本ボーイスカウト神奈川連盟から善行賞を受け表彰されたほどで、小林君の業績は、各方面で高く評価されておりました。

今回不慮の事故によつて三十歳の若さでこの世を去られたことは惜しんでも余りあることであります。

城南中が学校賞全国第二位

日本学生科学展

市立城南中学校では、全日本科学教育振興会、読売新聞社主催の第三回日本学生科学展に科学クラブ員と先生方の共同研究による『初島の自然、箱根におけるしだ類イノデ属、小田原地区の小気候、水田用水及び相模湾沿岸の海草分布』等五つの貴重な研究資料をまとめた『郷土の自然を探る』を出品し、学校賞において堂々と全国第二位に入賞し、さる十一月三日の文化の日に晴れの表彰を受けました。表彰式の席上茅東大学長は『出品された研究物を詳細に審査し、学校の理科教育、科学教育の運営が真によく行なわれているかどうかという観点からながめてこの賞を与えたのである。』と審査講評を行ないましたが、城南中学校では、日頃から生徒職員が一体となつて、長い間苦労に苦労を重ねて研究を続け、その成果が今日ここに実を結んだわけであります。

この日バスにゆられて東京有楽町の読売ホールの表彰式場に出席した科学クラブ員六十名は、包みきれない喜びに、同乗した四名の先輩から『今後ともより一層の精進を』と激励され、帰校しました。

明るい社会はまず人権の尊重から

きたる十二月十日は、国連総会で『世界人権宣言』が採択された記念日です。人は生まれながらにして自由と平等の権利をもっています。人権擁護のための無料相談所をご利用下さい。

人権その他（無料）法律相談所の開設

◎十二月九日午前十時～午後四時
◎中央公民館分室
◎相談担当者
小田原市人権擁護委員
佐藤謙吉（幸）根本芳太郎（西大友）原達夫（酒匂）中島芳太郎（石橋）小西尚三郎（十字）二宮一雄（稲山）旦下部政輝（早川）奥津介佐（蓮正寺）長谷川ハマ（国府津）諏訪部ヒロ（池上）
法務局職員　市役所職員
小田原市人権擁護委員協議会
主催横浜地方法務局小田原支局
小田原市

心配ごと相談室

12月1日・8日・22日
午前9時～午後3時
中央公民館分室
小田原市社会福祉協議会

会計名	予算現額	収入済額	支出済額	収入支出差引残額
特別会計決算額調 昭和三十三年度 競輪会計	994.133.512円	994.895.756円	986.376.306円	8.519.450円
競水会計	57.634.405	56.639.909	55.642.881	997.028
公道会計	26.569.922	20.141.542	20.097.551	43.991
国益質屋会計	89.262.805	85.684.776	88.394.308	−2.709.532
国民健康保険会計直営	2.410.167	3.143.718	1.923.512	1.220.206
国民健康保険会計	128.081.728	128.000.020	127.546.963	453.057
国民療施設会計	1.528.634	1.528.634	1.528.634	0
国診市立病院会計	1.299.621.173	1.290.034.355	1.281.510.155	8.524.200
厚生年金保険会計				
厚生積立金融資転貸会計				
還元住宅会計				
計				

会計名	予算現額	収入済額	支出済額
昭和34・9・30現在 競輪会計	747.107.250円	571.781.615円	543.426.230円
競水会計	61.069.223	29.103.936	25.416.223
公道会計	24.107.991	8.079.015	9.234.423
国益質屋会計	104.007.824	43.591.801	43.038.930
国民健康保険会計直営	3.308.806	2.303.741	846.691
国民健康保険会計	162.117.730	50.299.014	52.889.672
国診市立病院会計	1.160.786	764.317	764.317
厚生年金保険会計			
厚生積立金融資転貸会計			
還元住宅会計			
計	1.102.879.610	705.923.439	675.616.486

会計収支状況比較表
各特別会計

片浦小子供郵便局が中央表彰

国府津、足柄は地方表彰

昭和三十四年度優良「こども銀行」に対する表彰式は、さる十一月十九日県庁議場で行なわれ、本市からは片浦小学校子供郵便局が中央表彰を、国府津子供郵便局及び足柄こども銀行が地方表彰をそれぞれ受けました。

この表彰は、こども銀行の健全な発展をはかるため預貯金の入手内容、増加率及びその運営方法等が特にすぐれているものに対し、毎年大蔵大臣、日銀総裁が中央表彰を、県知事が地方表彰を行なうものです。

本年度はえある中央表彰を受けた片浦小学校子供郵便局は、昭和二十七年根府川郵便局を親銀行として発足、教職員のよき指導と協力により円滑な運営が行なわれており、加入者は全児童四〇五人におよび、その預金額は二百五十五万二十七円の多きに達しています。

特に預貯金の入手内容の中には他の銀行に見られないみかんの摘果、茶つみの共同作業で得たお金が含まれていたこと等が、今回の表彰の大きな原因となっております。

なお、地方表彰の国府津子供郵便局、足柄こども銀行の預金額は次のとおりです。

国府津子供郵便局
五百六十八万八千百三十円

足柄こども銀行
百四十一万五千五百五十三円

（写真は）片浦小子供郵便局窓口　業務はすべて生徒で行なわれ預金日の毎月第一・二の火曜日は大変忙がしい

四百障害等に日本新記録

小田高チームも高校新

日独対抗陸上競技大会

日独対抗陸上競技大会は、さる十月二十四日秩父宮賜杯第五回一般・学生対抗陸上競技大会を兼ねて、秩父宮妃殿下ご臨席の下に、市営城山陸上競技場で開催されました。

秋の日ざしがグランド一ぱいにさした絶好の競技日和に恵まれ、午前十時高らかに鳴るファンファーレを合図に、スタンドにつめかけた観覧者の拍手を浴びながら、ドイツチームを先頭に日本一般、学生チームの入場行進が開始され本大会の幕が切って落されました。

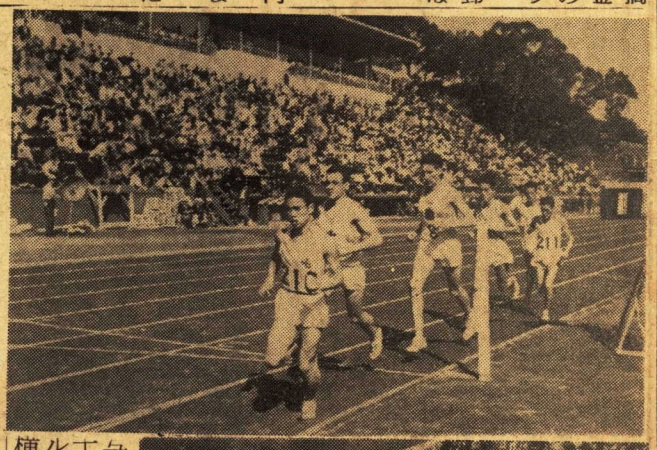
ドイツ選手団　男子十六名、女子八名、日本一般選手団　男子三十二名、女子十三名、学生選手団三十二名、計一〇一名の選手によって、男子十九種目、女子九種目にわたり熱戦がくりひろげられ、四百障害に大串選手が五二秒四、ハンマー投げに岡本選手が六十メートル三十九の日本新記録を出したほか、ドイツ選手も日本国際新記録三の成果を収め、三部対抗ではドイツチームが一三五点で一位、二位は日本学生チームの一二一点、三位は日本一般チームの一〇二点となり、一般対学生の部においては九七対八三で学生チームが優勝しました。

また、この日県下高校招待リレーで小田原高校チームは、八百メートルリレーに一分二十九秒三の日本高校新記録を樹立し、城内高校は四百メートルリレーに五十二秒一の県高校新記録を立ててそれぞれ優勝しました。

ドイツチームは、小田原大会をもって日本十一会場での大会を終りさる十月二十七日帰国の途につきましたが帰国に際しドイツ選手団長より次のとおりお礼の言葉がありましたのでお伝えします。

「日本十一会場での競技会の中小田原大会は総ての点で満点だった、市長さんはじめ市民の皆さんにくれぐれもよろしくー」と

市並びに大会事務局からも、市民の方々のご協力に対し厚くお礼申し上げます。



写真は五十メートル先頭は横溝選手

与投イフロトロ念記の長市

さらに被災地へ

二十九万円

伊勢湾台風の義えん金品

伊勢湾台風被災地に対する義え五百十六円（米貨五十ドルを含む）、衣類等三六、九五〇点、こん包一、一三九個の多きに達しました。

市では、これらの義えん金品のうち現金百十一万五千円、衣類等三三、七二二点、こん包一、〇二二個を十月十日、十三日、二十一日の三回にわたり、みなさんのご厚情を伝えて被災地へ送り、沢山の礼状をいただいておりますが、残余の現金二十八万九千五百十六円、衣類等四、二二八点、こん包一一七個は十一月二十五日次のとおりお送りしました。

対策本部へ送りました。

愛知県　十五万三千七百円
三重県　十万七千八百円
岐阜県　二万八千十六円
義えん品　愛知県へ

社会福祉事業基金に五十万円

江島さんが市に寄託

市内緑一ノ八三、小田原商工会議所会頭江島平八氏は、さる十月九二歳の高齢で死亡された同氏の母堂ユウさんの香典の一部五十万円を、十一月二十五日社会福祉事業基金にしてほしいと市に寄託されました。

市民文化祭の入賞者

市並びに教育委員会では十一月三日「文化の日」を中心として、さる十月三十一日から十二月四日まで市民の生活文化の向上に資するため、第六回市民文化祭の各種行事を開催しておりますが、今までに終った行事で、入賞された主な方々は次のとおりです。

◇紙芝居コンクール（出品二二点）
市長賞（十二支物語）
下府中ほがらか子供会
教育委員賞（ハン助のじまん）
下府中ほがらか子供会
同（海に出かけたコイ）
山王双葉子供会

◇俳句大会（出品三七六点）
市長賞　宵木久一
議長賞　青木久青
教育委員会賞　渡辺白蓉
斉藤無苔子
秋山撲子
城東高　小田高
市長賞（花）城内高
教育委員会賞（岬への道）
同（沼）
同（出品一七四点）
市長賞　白山中
教育委員会賞　星野政恵
城内高
白鴎中　志沢佐千枝
水島和子

◇菊花展（出品七十七点）
市長賞（佳雪）小野春松
議長賞（大泉郷）杉本匡宏
教育委員会賞（精興）松尾久一
美人一

みんなで考えましょう　第19回

市政クイズ

みんなに楽しみながら市の行政をよく知っていただくため、月一回市政クイズを行なうことにいたしております。奮って応募して下さい。

問題

十一月□日開館した□□記念館には、□□館と児童□□館の二つが設けられています。

児童□□館は□つの室に分かれこども□□室、小・中学生室、こどもクラブ、□□□資料室及び小劇場等があり、なかでもこども□□室の□□や小・中学生室は□気を集めております。

□□館も□つの室に分かれ、三階の閲覧室や□万□収容できる書庫が完□されているほか、自動車で図書や資料等を□出す自動車□□編成室などがあります。

応募規定

1 賞金は二千円、正解者二名以上のときは等分し六名以上のときは抽せんにより五名に等分する（正解者のないときは次回に加算）

2 問題中□は当用漢字（補正漢字を含む）で記入する。

3 応募用紙は官製ハガキ又はハガキ大用紙

4 応募は一人一通に限る。

5 締切は十二月十五日（十五日消印あるものは有効）

6 あて先は市役所庶務課広報文書係

7 解答及び正解者は次号の本紙上に発表する。

（注意）応募者は小田原市民に限る◎市の職員とその家族は応募できない

第18回の結果

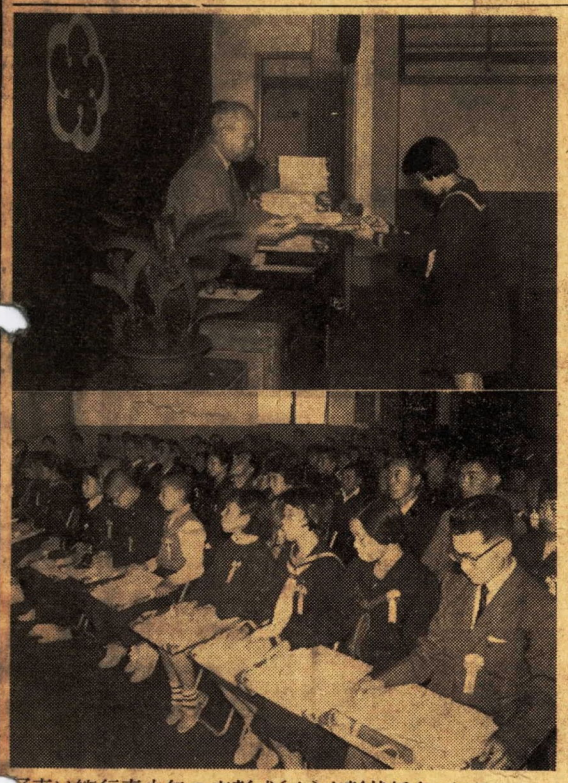
応募者六四名のうち正解者は一名でありましたので、次の方に賞金二、〇〇〇円をさしあげることになりました。

下曽我の柏木さんに賞金二千円

曽我原五五八　柏木文治

第18回の正しい答

九月の定例市議会では三十八の案件が議決されましたが、その中には久野諏訪原地内にし尿処理場を建設し、し尿じん芥高速たい肥化装置（コンポスト）を設置することや、公営住宅を板橋地区福井島に二十四戸、桜井地区栢山に三十戸建設することになったほか全国都市にさきがけて、がん対策委員会を設置しがんの早期発見と治療の促進を図るための関係条例が制定されるなど、市民福祉の増進に関係深い案件が多く含まれています。



写真は篤行青少年の表彰式（上）与授状彰表（下）場式

篤行青少年などを表彰

市青少年問題協議会主催による篤行青少年並びに優良子供団体等の表彰式は、文化の日のさる十一月三日午前十時から中央公民館で関係者多数の出席を得て盛大に行なわれました。

当日は、会長の鈴木市長から次の篤行青少年二十三名、優良子供会七団体、青少年保護育成功労者一名、その他二団体にそれぞれ表彰状と記念品が贈られました。

◇篤行少年
佐藤長英（本町小）　小野田英雄（新玉小）　磯崎仁、和田昌親（山王小）　天野紀子（下府中小）　鈴木ユミ子（城南中）　長谷川洵子（白鴎中）　板橋正彦（白山中）　吉田栄三（鴨宮中）　穂坂昌江（千代中）　高瀬登士雄（酒匂中）

◇篤行青年
池田明（町田）　市川勇（池上）　秋山博貞（風祭）　青木利憲（早川）　松本康子（鴨宮）　穂坂敏雄（曽我原）　三廻部宰男　隅田守和（千代）　鈴木美子（高田）　安藤千代子（酒匂）　海野秀男（国府津）　鳥居孝夫（上曽我）

◇優良子供団体
三十一区子供会（本町小学区）
六美子供会（城内小学区）
黎明子供会（新玉小学区）
若葉子供会（山王小学区）
西大友子供会（千代小学区）
石橋子供会（片浦小学区）
下曽我子供会連絡協議会（下曽我小学区）
◇青少年保護育成功労者
高井喜雄（栢山）
◇その他
城南中学校吹奏楽部

優良産業勤労者三〇名表彰さる

さる十一月二十三日勤労感謝の日に優良産業勤労者の表彰式が行なわれ、工業関係八名、商業関係五名、交通業関係二名、農業関係一〇名及び水産業関係五名に対し鈴木市長から表彰状、記念品がそれぞれ贈られました。

被表彰者の氏名は次のとおりであります。

◇工業関係
石井兵太郎（田代商店）
吉井兵太郎（山崎鉱泉所）　岩本李
ガス（小田原）　尾和之（湯浅電池）　柏
木金太郎（報徳組）　加藤種造（
小林商店）　中村高一（加藤度器
上野ウラ（小田原製紙）

◇商業関係
岩田マサ子（まる九呉服店）　岡
田彌市（小田原南部食販組合）
中島稲之助（同中部食販組合）
八尾ヨシ（アメリカヤ）　真壁敏
男（東華軒）

◇交通業関係
安藤義造（箱根登山鉄道）　杉田
勇作（伊豆箱根鉄道）

◇農業関係
石井キク（田島）　初瀬川政之（
久野（小沢治平（下大井）　渡辺
秀雄（中島）　脇山治郎左エ門（
石橋（高橋武雄（矢作）　内田牛
太郎（高田）　山室清之助（早川
）　小島一（酒匂）　神揚覚蔵（
堀之内）

◇水産業関係
大津栄一（早川漁協）　松本善太
郎（幸）　浅倉伝左エ門（岩江鰯
網・共栄秋網組合）　湯川清吉（
万年・去石音松（米神鰯網・共
栄秋網組合）

年末、年始の繁忙期をむかえ郵便物の取扱いにつきましては常に早く正確に配達することを旨としておりますが、郵便物のあて名が不完全のため遅延、不着等の事故が非常に多くなりました。

あて名は正しく

小田原郵便局

そこで郵便物をお出しの際は次のように正しくあて名を記載して下さるようお願いします。

◇正しいあて名の書き方
□□都道府県□□市郡□□区□□町□□番地□□肩書

（注意）
◇北海道の場合は市以外は道名の次に国名を記載して下さい
◇都道府県庁所在の市以外はすべて都道府県名を記載して下さい。
◇肩書きの例
同居人、下宿人、間借人の場合…世帯主又は家主名
アパート居住者の場合…アパート名
ビルにある会社、商店の場合…ビル名と部屋番号
◇同一の市区町村を二以上の配達局で受持っている場合は「□□局区内」と記載して下さい。
◇小包郵便については、包装ひもかけ等を完全にし、包装紙にあて名を記載するほか丈夫な荷札二枚をつけて下さい。
◇標札は必ず名戸に掲出して下さい。
◇受箱を取付けていただくと寮アパートなど郵便物を早く受け取れて便利です。